

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰

下記は3月26日開催の会長会の資料の抜粋となります。ご参考までにお送りします。

第2回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 3/6

1) 松本吉郎常任理事は、PCR検査が保険適用になったことで全ての医療機関で対応可能との誤解が生じているとし、「対応できない医療機関は、帰国者・接触者外来等の検査体制の整った医療機関に紹介する対応をお願いしたい」と述べた。

2) 多くの医師会から、マスク等の資材が不足している窮状が訴えられたことに対して、横倉会長は、国がマスクを全国に供給することになっているが、日医としても必要枚数を把握する調査を実施し、その結果を国に伝える意向を表明。また、日本医療国際化機構から、12万枚の医療用マスクの提供を受けることを明らかとし、都道府県医師会を通じて、各医療機関に配布する予定であるとした。

第3回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 3/13

1. 地域の各医療機関の外来に共通する感染予防策

基本的に誰もがこのウイルスを保有している可能性があることを考慮して、全ての患者の診療において、標準予防策であるサージカルマスクの着用と手指衛生の励行を徹底すること、また、患者が発熱や上気道症状を有する等の場合であっても、後述の検体採取やエアロゾルが発生する可能性のある手技を実施しないときは、標準予防策の徹底で差し支えないこととされております。

上記について、日本医師会として、新型コロナウイルス感染症に関する知見が得られていない現状では、例えばインフルエンザなどの場合には検査をせずに臨床診断にて治療薬を処方することをご検討ください。

2(1) 新型コロナウイルス感染症患者(同感染症が疑われる者も含む。以下、同様。)を診察する際の感染予防策・患者に対しては、標準予防策に加えて、飛沫予防策及び接触予防策を実施すること。

患者の鼻腔や咽頭から検体を採取する際には、サージカルマスク等及び眼の防護具(ゴーグル又はフェイスシールド)、ガウン、手袋を装着すること。

- ・患者に対し、エアロゾルが発生する可能性のある手技(例えば気道吸引、下気道検体採取等)を実施する場合は、N95マスク(またはDS2など、それに準ずるマスク)、眼の防護具(同上)、ガウン、手袋を装着すること。
- ・患者の診察において上記感染予防策をとることが困難である場合は、最寄りの帰国者・接触者外来に紹介すること。
- ・个人防护具を着用中また脱衣時に眼・鼻・口の粘膜を触れないよう注意し、着脱の前後で手指消毒を実施すること。

2(2) 原則として、診察した患者が新型コロナウイルス感染症患者であることが後に判明した場合であっても、

1.及び2. (1)に基づいた感染予防策を適切に講じていれば、濃厚接触者には該当しないこととされております。

アンケート(日本臨床工学技士会)

神奈川県

回答数	総病床数	臨床工学技士数	人工呼吸器			マスク型		ECMO	
			取扱数	小児	待機	数	待機数	数	待機数
33	13,924	491	737	315	420	276	185	63	51

## 第4回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会3/19

奈良県医師会は県庁から、「新型コロナ感染症の感染者を全ての診療所で診て欲しい」との依頼があったことを報告。そうした動きが全国に広がることのないよう、厚生労働省への働き掛けを求めるとともに、集中的に検査ができる施設を設け、コロナ以外の患者を診療所で診るといった仕組みをつくることを提案した。

### 感染症対策協議会(3/19)報告

	今後1ヶ月に県内で必要な数量	国から供与される数
消毒用アルコール	1,156,125 リットル	300 リットル
サージカルマスク	4,959,574 枚	1,000,000 枚
防護服	10,691 枚	無し